

様式1

大学等名	東京情報大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない

③ 修了要件

プログラムを構成する 情報モラルとセキュリティ情報社会とAI、情報リテラシー演習、統計学の3科目をすべて履修し、合計6単位を取得すること。

必要最低単位数 6 単位 履修必須の有無 令和7年度までに履修必須とする計画

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
情報モラルとセキュリティ情報社会とAI	2	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
情報モラルとセキュリティ情報社会とAI	2	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
情報モラルとセキュリティ情報社会とAI	2	○	○	○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
情報モラルとセキュリティ情報社会とAI	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
統計学	2	○	○	○							
情報リテラシー演習	2	○		○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(2回目) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(2回目) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(2回目) ・複数技術を組み合わせたAIサービス：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(2回目) ・人間の知的活動とAIの関係性：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(2回目) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(1回目)
	1-6	・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(8回目) ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、敵対的生成ネットワーク、強化学習、転移学習など)：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(8回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(3回目) ・1次データ、2次データ、データのメタ化：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(3回目) ・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(3回目) ・データ作成(ビッグデータとアノテーション)：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(3回目) ・データのオープン化(オープンデータ)：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(3回目)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(4回目) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(4回目) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(4回目)
(3)様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析：予測、グルーピング、パターン発見、最適化、シミュレーション・データ同化など：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(5回目) ・データ可視化：複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(6回目) ・非構造化データ処理：言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(7回目) ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(6回目) ・認識技術、ルールベース、自動化技術：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(6回目)
	1-5	・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(7回目) ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介：「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(7回目)

(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・ELSI(Ethical, Legal and Social Issues):「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(9回目) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト:「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(9回目) ・データ倫理:データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護:「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(9回目) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断):「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(9回目) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス:「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(9回目) ・AIサービスの責任論:「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(9回目) ・データ・AI活用における負の事例紹介:「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(9回目)
	3-2	・情報セキュリティ:機密性、完全性、可用性:「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(10, 12回目) ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取:「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(10回目) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介:「情報モラルとセキュリティ情報社会とAI」(11, 12回目)
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類(量的変数、質的変数):「統計学」(2回目) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値):「統計学」(1, 3, 4回目) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い):「統計学」(1回目) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値):「統計学」(2回目) ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡):「統計学」(8, 9回目) ・母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出):「統計学」(1, 11回目) ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列:「統計学」(9回目)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ):「統計学」(8回目)「情報リテラシー演習」(12回目) ・データの図表表現(チャート化):「情報リテラシー演習」(11回目) ・データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト):「統計学」(5回目)「情報リテラシー演習」(19回目) ・不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素):「情報リテラシー演習」(20回目) ・優れた可視化事例の紹介(可視化することによって新たな気づきがあった事例など):「情報リテラシー演習」(17回目)
	2-3	・データの集計(和、平均):「情報リテラシー演習」(11回目) ・データの並び替え、ランキング:「情報リテラシー演習」(13, 14回目) ・データ解析ツール(スプレッドシート):「情報リテラシー演習」(19回目) ・表形式のデータ(csv):「情報リテラシー演習」(12, 18回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ・情報を適切に収集、分析及び活用することができる。
- ・今日の情報社会の基礎的教養であるデータ処理、AIについて基礎的な事柄を理解できる。
- ・情報社会における倫理規範やマナーを理解できる。
- ・統計学の基礎知識が習得できる。
- ・統計的手法を用いてデータを解析する技術が習得できる。

授業科目名	情報社会とAI		1年	2単位
担当者	総合情報	井関 文一／早稲田 篤志		
	看 護	井関 文一		
授業概要	・今日の情報社会の基礎的教養である，情報モラル，データ処理，AI等の基礎について講義を行う． ・また，情報セキュリティやプログラミングについての基礎知識を学習する． ・この講義を通して，情報社会における基礎的教養やモラルやセキュリティの基礎を提供する．			
到達目標	・今日の情報社会の基礎的教養であるデータ処理，AI について基礎的な事柄を理解できる．（知識・理解） ・情報社会における倫理規範やマナーを理解できる．（態度・志向性） ・プログラミングについて基礎的な知識を有し，それを応用できる，（総合的な学習経験と創造的思考力）			
授業の方法	・テキストと配布資料を使用しながら，講義形式で行う． ・講義の最後に理解度確認問題を課す．			
授業時の質問方法	・授業中に直接質問する．			
授業時間外の質問方法	・ https://el.mml.tuis.ac.jp の質問用フォーラムを利用する．			
授業計画	1. ガイダンス 2. <u>社会で起きている変化</u> 3. <u>社会で活用されているデータ</u> 4. <u>データ・AIの活用領域</u> 5. <u>データ・AI利活用のための技術</u> 6. <u>データ・AI利活用の現場</u> 7. <u>データ・AI利活用の最新動向</u> 8. <u>データ・AIを扱う上でのモラル</u> 9. <u>データを守る上でのモラル</u> 10. <u>著作権，科学技術の倫理</u> 11. <u>インターネットサービス上の犯罪事例とSNS</u> 12. <u>セキュリティ入門（簡単なセキュリティの入門）</u> 13. アルゴリズム基礎（構造化プログラミング） 14. データ構造基礎（スタック，パイプ，配列，リスト等） 15. まとめ（平常試験を含む）			
評価方法	小テスト（20％）、平常試験（80％）			

授業科目名	統計学		1年	2単位
担当者	総合情報	佐野 夏樹／鈴木 聡／吉富 公彦		
	看 護	内田 治		
授業概要	データの背後にある情報を引き出すための方法として統計的手法がある。統計的手法はあらゆる分野で活用されており，研究活動におけるデータ処理の技法としても活用されている。本講座では統計的手法の基礎知識を習得することをねらいとする。具体的には，記述統計学と呼ばれる分野を中心に講義する。			
到達目標	・ 統計学の基礎知識を習得する（汎用的技能）。 ・ 統計的手法を使ってデータを解析する技術を習得する（汎用的技能）。			
授業の方法	・ 統計解析の各手法に関する講義と講師の提示する課題の演習			
授業時の質問方法	・ WebClass の「メッセージ」機能を利用して，質問してください。			
授業時間外の質問方法	・ WebClass の「メッセージ」機能を利用して，質問してください。			
授業計画	1 <u>統計学の概要（母集団と標本抽出）</u> 2 <u>データの種類と代表値の指標（平均値・中央値・最頻値）</u> 3 <u>データのばらつきの指標（範囲・分散・標準偏差）</u> 4 <u>ヒストグラムの作り方と使い方</u> 5 <u>箱ひげ図</u> 6 正規分布・標準化 7 正規分布・正規分布表の引き方 8 <u>散布図</u> 9 <u>相関係数</u> 10 回帰分析 11 <u>順位相関係数</u> 12 総合課題（1） 13 総合課題（2） 14 総合課題（3） 15 まとめ			
評価方法	課題（55％）、レポート（45％）			

授業科目名	情報リテラシー演習		1年	2単位
担当者	総合情報	樋口 大輔／小早川 陸貴／川勝 英史／平塚 聖敏／鈴木 敏彦 木村 昌史／須賀 孝之／小岩 義典／渡辺 俊一		
	看護	松下 孝太郎／村上 洋一		
授業概要	大学生として講義や演習を履修していく上で不可欠なコンピュータ利用技法を学ぶ。文書作成、表計算やグラフ作成、プレゼンテーション、インターネットを用いたコミュニケーションと情報収集・発信、画像・音声の利用と処理、コンピュータとネットワークの基本的な仕組みの理解、コンピュータ社会に関わる諸問題など幅広く学ぶことで、問題解決のための基礎的素養を身につけることを目指す。			
到達目標	・コンピュータおよび情報の知識を習得し、社会の中で活用することができる。(知識・理解) ・情報を適切に収集、分析及び活用することができる。(汎用的技能) ・情報モラルを身につけ、ICTを利活用することができる。(態度・志向性)			
授業の方法	・テキストおよび WebClass の教材を利用しながら演習形式で行う。 ・毎回、WebClass の教材を参照し、テキストの補足事項の確認と課題を行う。			
授業時の質問方法	クラス担当教員あるいは学生スタッフに質問すること。			
授業時間外の質問方法	質問は、クラス担当教員へメールすること。			
授業計画	01 諸注意、大学のネットワークの概要、情報倫理 02 ノートPCの環境構築、クラス分けテスト 03 インターネットの基本概念、利用上の注意、メールの使用方法 04 ノートPCの利用 (Windowsとアプリケーション) 05 ファイルとフォルダの管理 06 インターネットによる情報検索 07 文書作成(1) Wordの文書作成と文字の装飾 08 文書作成(2) Wordのレイアウト設定と印刷 09 文書作成(3) Wordによるレポート形式文書の作成 10 文書作成(4) Wordによる論文形式文書の作成 11 <u>表計算(1) Excelの概要と基本操作：データの集計 (和、平均)、データの図表、表現 (チャート化)</u> 12 <u>表計算(2) Excelの表とグラフ作成：データ表現 (棒グラフ、折線グラフ、散布、図、ヒートマップ)</u> 13 <u>表計算(3) Excelの関数：データの並び替え、ランキング</u> 14 <u>表計算(4) Excelの高度な関数</u> 15 プレゼンテーション(1) PowerPointの概要と基本操作 16 プレゼンテーション(2) PowerPointの画像挿入と配置設定 17 <u>情報活用(1) 研究レポート作成課題「テーマ設定」：優れた可視化事例の紹介</u> 18 <u>情報活用(2) 研究レポート作成課題「基本構想」：表形式のデータ (csv) の扱い方</u> 19 <u>情報活用(3) 研究レポート作成課題「基本調査とデータ収集」：データ解析ツール (スプレッドシート)、データの比較 (条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)</u>			

	20 情報活用(4) 研究レポート作成課題「分析と文書作成」：不適切なグラフ表現（チャートジャンク、不必要な視覚的要素） 21 HTML文書作成(1) HTMLの概要とテキストエディタの基本操作 22 HTML文書作成(2) HTMLのレイアウト設定（文字装飾、見出し、段落） 23 HTML文書作成(3) HTMLの画像挿入と表作成 24 HTML文書作成(4) スタイルシートの基礎 25 HTML文書作成(5) スタイルシートの基本 26 HTML文書作成(6) HTMLを用いた課題作成 27 HTML文書作成(7) スタイルシートを用いたページの作成 28 HTML文書作成(8) HTMLとCSSを用いた課題作成 29 マルチメディア（画像、映像、音声）の利用 30 マルチメディアを用いた課題作成
評価方法	課題（60%）、レポート（40%）

変更後のプログラムが全学部等の開講されていることが分かる資料



学生ハンドブック2023

大学院総合情報学研究科
総合情報学部
看護学部

東京情報大学

Tokyo University of Information Sciences

総合情報学部教育課程（抜粋）

3) 授業科目表

全学共通科目

科目区分	授業科目の名称	科目No.	年次	学期	単位数	学系別必修区分			教職 情報学	職 数	DS 応用基礎	担当者
						情報システム	データサイエンス	情報メディア				
全学基礎	現代実学	情報リテラシー演習	UC100-101	1	F	2	◎	◎	◎	◎	◎	樋口 大輔 小早川 睦貴 川勝 英史 *木村 昌史 *小岩 義典 *須賀 孝之 *鈴木 敏彦 *平塚 聖敏 *渡辺 俊一
		情報社会とAI	UC100-102	1	F	2	◎	◎	◎	◎	◎	井関 文一 早稻田 篤志
	スポーツ	スポーツ演習a	UC200-101	1	F/L	1	○	○	○	○	○	石井 政弘
		スポーツ演習b	UC200-102	1	F/L	1	○	○	○	○	○	*原 朗
		スポーツ演習c	UC200-103	1	F/L	1	○	○	○	○	○	*齊藤 修司
		スポーツ演習d	UC200-104	1	F/L	1	○	○	○	○	○	
	外国語	英語a	UC300-101	1	F	1	◎	◎	◎	◎	◎	高橋 洋平
		英語b	UC300-102	1	L	1	◎	◎	◎	◎	◎	*太田 美智子
		英語c	UC300-103	1	F	1	◎	◎	◎	◎	◎	*渡邊 啓之
		英語d	UC300-104	1	L	1	◎	◎	◎	◎	◎	*更科 加代子 *中尾 由美子 *松堂 啓子 *本間 章郎 *藪内 聡子 *矢野 剛 *水戸 俊介 *渡邊 正明 *林 晃喜
		中国語a	UC300-201	2	F	1	○	○	○			*飯塚 由樹
		中国語b	UC300-202	2	L	1	○	○	○			*飯塚 由樹
		ハングル・韓国語a	UC300-203	2	F	1	○	○	○			*崔 甲伊
		ハングル・韓国語b	UC300-204	2	L	1	○	○	○			*崔 甲伊
		日本語a(*)	UC300-105	1	F	1	◎	◎	◎			茂住 和世
		日本語b(*)	UC300-106	1	L	1	◎	◎	◎			*今川 和
		日本語c(*)	UC300-107	1	F	1	◎	◎	◎			
		日本語d(*)	UC300-108	1	L	1	◎	◎	◎			

【備考】

- 授業科目の名称欄の(*)は外国人留学生対象科目を表す。また、(◇)は教職課程履修者対象科目を表す。
- 学系別必修区分欄の◎は必修科目、○は選択必修科目、△は選択科目、－は履修不可科目、空欄は学系ごとに指定した単位まで自由選択可能な科目を表す。
- 教職欄の◎は必修科目、○は選択必修科目、△は選択科目、*は推奨科目を表す。
- 担当者の前の*は非常勤講師を表す。
- DS応用基礎欄の記号は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）に該当する必修科目（◎）、選択科目（○）を表します。当該科目を履修し修了要件を満たすことで、本教育プログラムの修了者として認定されます。
修了要件 必修科目：26単位、選択科目：10単位以上 合計：36単位以上

共通科目

科目区分	授業科目の名称	科目No.	年次	学期	単位数	学系別必修区分			情報	教職	数	D S 応用基礎	担当者
						情報システム	データサイエンス	情報メディア	報	学	学		
基礎教育	基礎演習	基礎演習	I1400-101	1	F	1	◎	◎	◎				(専任教員)
	総合基礎	人文	哲学概論	I1501-101	1	F	2	△	△	△			*小須田 健
			レポートと文章作法	I1501-102	1	F/L	2	△	△	△	◎	◎	田邊 昭雄 *白井 雅彦 *竹内 英世 *關 晶子
			歴史学	I1501-103	1	F	2	△	△	△			*坂口 太助
			文化人類学	I1501-104	1	L	2	△	△	△			*足立 加勇
			心理学概論	I1501-105	1	L	2	△	△	△			小早川 睦貴
			法学概論	I1502-101	1	F	2	△	△	△			*花村 征志 *宮原 均
		社会	日本国憲法	I1502-102	1	F	2	△	△	△	◎	◎	*宮原 均
			経済学概論	I1502-103	1	F	2	△	△	△			*伊藤 幸郎
			情報法	I1502-104	1	L	2	△	△	△			*宮原 均
			市民活動論	I1502-105	1	F	1	△	△	△			R5休講
			人権・ジェンダー	I1502-106	1	F	1	△	△	△			*細田 満和子
			社会学概論	I1502-107	1	L	2	△	△	△			圓岡 偉男
		自然	基礎数学入門	I1503-101	1	F	2	△	△	△			鈴木 英男 蔵岡 啓司 釣井 達也 *福室 康介
			基礎数学a	I1503-102	1	F	2	△	◎	△		◎	蔵岡 啓司 *篠原 徹 *平塚 聖敏 *福室 康介
			基礎数学b	I1503-103	1	L	2	△	◎	△		◎	蔵岡 啓司 *篠原 徹 *福室 康介
			生命倫理	I1503-104	1	L	2	△	△	△			*近藤 弘美
			環境学	I1503-105	1	F	2	△	△	△			富田 瑞樹
			数理科学	I1503-106	1	L	2	△	△	△			*木村 昌史
			健康科学	I1503-107	1	F	2	△	△	△			石井 政弘 吉武 幸恵
		特別講義	特別講義a	I1504-001			2	△	△	△		◎	花田 真樹
			特別講義b	I1504-002			2	△	△	△		◎	岸本 頼紀
			特別講義c	I1504-003			2	△	△	△		◎	早稲田 篤志 鈴木 英男 肥後 利朗 *伊藤 幸郎 *西川 マキ *秋元 大輔
	知識創造	知識創造の方法	I1400-106	1	F	2	◎	◎	◎				茂住 和世 中島 淳 *中尾 宏 西村 明 河野 義広 岸本 頼紀

科目区分	授業科目の名称	科目No.	年次	学期	単位数	学系別必修区分			情報	教職	数	DS 応用基礎	担当者
						情報システム	データサイエンス	情報メディア	報	学			
基礎教育	実用語学	コンピュータ英語a	II300-201	2	F	1	○	○	○				* 國府方 麗夏
		コンピュータ英語b	II300-202	2	L	1	○	○	○				* 渡邊 啓之 * 林 晃喜 * 更科 加代子 * 中尾 由美子 高橋 洋平
		ビジネス英語a	II300-203	2	F	1	○	○	○				高橋 洋平
		ビジネス英語b	II300-204	2	L	1	○	○	○				* 水戸 俊介 * 太田 美智子 * 藪内 聡子
情報基礎	経営と情報	II100-101	1	L	2	◎	◎	◎					池田 幸代 樋口 大輔 * 中尾 宏
	コンピュータ概論	II100-102	1	L	2	◎	◎	◎	◎			◎	早稲田 篤志 釣井 達也 * 伊藤 幸郎 * 小出 英範
	情報分析基礎	II100-103	1	L	2	◎	◎	◎			◎		堂下 浩 吉澤 康介 小早川 睦貴 佐野 夏樹 * 吉富 公彦 * 木村 昌史 * 鈴木 敏彦 * 伊藤 幸郎
	統計学	II100-104	1	F	2	◎	◎	◎			◎		佐野 夏樹 川勝 英史 * 伊藤 幸郎 * 鈴木 俊彦 * 吉富 公彦
	プログラミング入門	II100-105	1	F	2	◎	◎	◎				◎	井関 文一 マッキンズゲームズ 朴 鍾杰 早稲田 篤志 * 海老原 亨 * 平塚 聖敏
キャリアデザイン	キャリアデザインa	II400-201	2	L	2	△	△	△					小早川 睦貴 井関 文一
	キャリアデザインb	II400-301	3	F	2	△	△	△					茨木 正治 高橋 洋平
	インターンシップ	II400-302	3		2	△	△	△					河野 義広 樋口 大輔 マッキンズゲームズ
	日本の社会と生活文化(※)	II400-202	2	F	2	△	△	△					茂住 和世
	ビジネスコミュニケーション(※)	II400-203	2	L	2	△	△	△					茂住 和世
	リクルートコミュニケーション(※)	II400-303	3	F	2	△	△	△					茂住 和世

【備考】

- (1) 授業科目の名称欄の(※)は外国人留学生対象科目を表す。また、(◇)は教職課程履修者対象科目を表す。
- (2) 学系別必修区分欄の◎は必修科目、○は選択必修科目、△は選択科目、一は履修不可科目、空欄は学系ごとに指定した単位まで自由選択可能な科目を表す。
- (3) 教職欄の◎は必修科目、○は選択必修科目、△は選択科目、*は推奨科目を表す。
- (4) 担当者の前の*は非常勤講師を表す。
- (5) DS応用基礎欄の記号は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）に該当する必修科目（◎）、選択科目（○）を表します。当該科目を履修し修了要件を満たすことで、本教育プログラムの修了者として認定されます。
修了要件 必修科目：26単位、選択科目：10単位以上 合計：36単位以上



看護学部教育課程（抜粋）

4) 授業科目表

授業科目は次の表のとおりです。

科目区分	授業科目の名称	科目No.	配当年次	卒業・資格取得に必要な単位			担任教員 * 予定者含む、当該年度のシラバス参照
				単位数	看護師	保健師	
全学基礎科目	実現学代	情報リテラシー演習	UC100-101	1前	2	○	村上 洋一、松下 孝太郎
		情報社会とAI	UC100-102	1前	2	○	
	スポーツ	スポーツ演習 a	UC200-101	1前・後	1	○	井関 文一
		スポーツ演習 b	UC200-102	1前・後	1	○	
		スポーツ演習 c	UC200-103	1前・後	1	○	
		スポーツ演習 d	UC200-104	1前・後	1	○	
	外国語	英語 a	UC300-101	1前	1	○	石井 政弘、原 朗
		英語 b	UC300-102	1後	1	○	
		英語 c	UC300-103	1前	1	○	
		英語 d	UC300-104	1後	1	○	
		中国語 a	UC300-109	2前	1	△	
		中国語 b	UC300-110	2後	1	△	
		ハングル・韓国語 a	UC300-111	2前	1	△	
		ハングル・韓国語 b	UC300-112	2後	1	△	
		日本語 a	UC300-105	1前	1	△	
		日本語 b	UC300-106	1後	1	△	
基礎科目	人間理解	コミュニケーション論	NN101-205	2前	1	○	國岡 偉男
		哲学概論	NN101-101	1前	2	△	
		生命倫理	NN101-103	1後	2	△	
		心理学概論	NN101-104	1後	2	△	
		健康科学	NN101-102	1前	2	△	
	環境理解	日本国憲法	NN102-102	1前	2	△	小須田 健
		法学概論	NN102-101	1前	2	△	
		情報法	NN102-104	1後	2	△	
		人権・ジェンダー	NN102-103	1前	1	△	
		文化人類学	NN102-105	1後	2	△	
	科学的思考	生命と情報	NN103-103	1後	2	△	近藤 弘美
		環境学	NN103-104	1前	2	△	
		基礎化学	NN103-102	1前	1	△	
		プログラミング入門	NN103-101	1前	2	△	
		小計			14単位以上		
専門基礎科目	社会生活の支援と健康づくり	ヘルスケアサービス論	NN201-102	1前	2	○	松井 博宣
		公衆衛生学	NN201-103	1後	2	○	
		看護関係法規	NN201-206	2前	1	○	
		カウンセリング基礎	NN201-101	1前	1	○	
		リハビリテーション論	NN201-205	2前	1	○	
		地域包括ケアと多職種連携	NN201-308	3前	1	○	
		保健福祉行政論	NN201-409	4後	1	○	
		口腔健康論	NN201-204	2前	1	△	
	疫学と統計	人間工学	NN201-207	2後	1	△	大石 朋子、菊谷 武、田村 文雄
		統計学	NN202-101	1前	2	○	
		看護情報と統計	NN202-102	1後	1	△	
	人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復	疫学・社会調査	NN202-203	2前	2	△	福田 亮子
		形態機能論Ⅰ	NN203-101	1通	2	○	
		形態機能論Ⅱ	NN203-102	1通	1	○	
		臨床栄養学	NN203-104	1後	2	○	
		臨床薬理学	NN203-207	2前	2	○	
		臨床生化学	NN203-206	2前	2	○	
		病理学	NN203-105	1後	1	○	
		病態生理学	NN203-208	2後	1	○	
		疾病と治療Ⅰ	NN203-209	2前	2	○	
		疾病と治療Ⅱ	NN203-210	2後	1	○	
専門科目	象徴科目	疾病と治療Ⅲ	NN203-211	2後	1	○	生魚 薫
		感染症学	NN203-103	1前	1	○	
		小計			27単位以上		
	基礎領域	看護と情報Ⅰ	NN311-101	1後	1	○	田嶋 公人
		看護と情報Ⅱ	NN311-202	2後	1	○	
		看護と情報Ⅲ	NN311-303	3前	1	○	
		看護と情報Ⅳ	NN311-404	4後	1	○	
		キャリアデザインとケアⅠ	NN311-105	1前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅡ	NN311-206	2前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅢ	NN311-307	3前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅣ	NN311-408	4後	1	○	
専門科目	基礎領域	看護と情報Ⅰ	NN311-101	1後	1	○	荒木 慶彦
		看護と情報Ⅱ	NN311-202	2後	1	○	
		看護と情報Ⅲ	NN311-303	3前	1	○	
		看護と情報Ⅳ	NN311-404	4後	1	○	
		キャリアデザインとケアⅠ	NN311-105	1前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅡ	NN311-206	2前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅢ	NN311-307	3前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅣ	NN311-408	4後	1	○	
	基礎領域	看護と情報Ⅰ	NN311-101	1後	1	○	樋野 興夫
		看護と情報Ⅱ	NN311-202	2後	1	○	
		看護と情報Ⅲ	NN311-303	3前	1	○	
		看護と情報Ⅳ	NN311-404	4後	1	○	
		キャリアデザインとケアⅠ	NN311-105	1前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅡ	NN311-206	2前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅢ	NN311-307	3前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅣ	NN311-408	4後	1	○	
専門科目	基礎領域	看護と情報Ⅰ	NN311-101	1後	1	○	松本 明子
		看護と情報Ⅱ	NN311-202	2後	1	○	
		看護と情報Ⅲ	NN311-303	3前	1	○	
		看護と情報Ⅳ	NN311-404	4後	1	○	
		キャリアデザインとケアⅠ	NN311-105	1前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅡ	NN311-206	2前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅢ	NN311-307	3前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅣ	NN311-408	4後	1	○	
	基礎領域	看護と情報Ⅰ	NN311-101	1後	1	○	児玉 悠希、菅原 久純
		看護と情報Ⅱ	NN311-202	2後	1	○	
		看護と情報Ⅲ	NN311-303	3前	1	○	
		看護と情報Ⅳ	NN311-404	4後	1	○	
		キャリアデザインとケアⅠ	NN311-105	1前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅡ	NN311-206	2前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅢ	NN311-307	3前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅣ	NN311-408	4後	1	○	
専門科目	基礎領域	看護と情報Ⅰ	NN311-101	1後	1	○	市川 香織、松下 博宣
		看護と情報Ⅱ	NN311-202	2後	1	○	
		看護と情報Ⅲ	NN311-303	3前	1	○	
		看護と情報Ⅳ	NN311-404	4後	1	○	
		キャリアデザインとケアⅠ	NN311-105	1前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅡ	NN311-206	2前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅢ	NN311-307	3前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅣ	NN311-408	4後	1	○	
	基礎領域	看護と情報Ⅰ	NN311-101	1後	1	○	市川 香織、松下 博宣
		看護と情報Ⅱ	NN311-202	2後	1	○	
		看護と情報Ⅲ	NN311-303	3前	1	○	
		看護と情報Ⅳ	NN311-404	4後	1	○	
		キャリアデザインとケアⅠ	NN311-105	1前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅡ	NN311-206	2前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅢ	NN311-307	3前	1	○	
		キャリアデザインとケアⅣ	NN311-408	4後	1	○	

数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）取組概要

急速に進展する情報社会、そしてその先にあるSociety5.0時代（超スマート社会）に活躍する人材を育成することを目的に、これまで行ってきた情報活用力、情報分析力及び情報発信力を身につけるための教育に加え、新たな視点としてデータ・AIの利活用及び統計的手法の基礎的な能力を身につける「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」を実施する。

身につけることのできる能力

- ・情報を適切に収集、分析及び活用することができる。
- ・今日の情報社会の基礎的教養であるデータ処理、AIについて基礎的な事柄を理解できる。
- ・情報社会における倫理規範やマナーを理解できる。
- ・統計学の基礎知識が習得できる。
- ・統計的手法を用いてデータを解析する技術が習得できる。

該当授業科目

- ・情報社会とAI（1年必修）
- ・情報リテラシー演習（1年必修）
- ・統計学（1年必修）

研究への展開

先端データ科学研究センター
ヘルスケア実践研究センター

教育への展開

応用基礎レベルの教育
データサイエンス学系での専門教育

実施体制・自己点検体制

数理・データサイエンス・AI教育推進委員会
（教務委員会傘下）

運営委員会
（内部質保証の推進を担う組織）

自己点検評価委員会

プログラムの運営・改善については教務委員会の下に設置した「数理・データサイエンス・AI教育推進委員会」が担当し、自己点検・評価は、本学の内部質保証のプロセスの中で行う。なお、自己点検は、該当科目の授業評価アンケート、当該教育プログラム全体のアンケート、授業科目の成績評価及び合格率等の情報を踏まえて実施する。